



中国 JV でリチウムイオン電池用電解質 LiFSI の 製造設備を増設

～EV・ESS 向け需要拡大への対応強化～

株式会社日本触媒（本社：大阪府中央区、代表取締役社長：野田和宏、以下「日本触媒」）は、中国の合弁会社である湖南福邦新材料有限公司（以下「湖南福邦」）において、リチウムイオン電池（以下、LIB）用電解質 LiFSI（リチウムビス（フルオロスルホニル）イミド、商品名：イオネル®）の年産 10,000 トンの製造設備を増設することをお知らせします。本投資は、EV（電気自動車）用途に加え、近年需要が拡大している ESS（電力貯蔵システム）向け電解質の需要増に対応し、LiFSI の供給体制を一層強化するものです。

1. 背景および投資目的

世界最大の LIB 市場である中国において、EV の高性能化（長寿命化、充電時間の短縮化、低温環境下の出力向上など）に寄与する LiFSI の需要が急増しており、湖南福邦では、これまでデボトルネック解消による能力増強（2022 年度 年産 1,200 トン。現在、年産 2,400 トン）を進めてまいりました。

しかし近年、EV 向けに加え、ESS 用途においても需要の拡大が見込まれており、今後の市場成長に対応するためには、さらなる供給体制の強化が必要となっております。このため、将来的な LiFSI 需要の拡大を確実に捉え、成長市場に対する安定供給体制を構築することを目的として、段階的に製造設備増設を進めてまいります。これにより、2027 年中に年産 12,400 トンの供給能力を確立し、中長期的な需要増に対応するとともに、LiFSI 事業の持続的な成長と競争力の強化を図ってまいります。

2. 投資の内容

生産能力	10,000 トン/年 (既存生産能力 2,400 トン/年と合わせて、合計 12,400 トン/年)
稼働時期	2026 年度 3,000 トン/年 商業運転開始 2027 年度 7,000 トン/年 商業運転開始 ※上記により、増設分 10,000 トン/年の生産能力が段階的に立ち上がる予定
場所	湖南福邦既存敷地内
資金計画	湖南福邦の自己資金および借入金による調達 (本件に伴う日本触媒からの追加出資等は行わない予定)

3. 湖南福邦の概要

所在地	中華人民共和国湖南省衡陽市（石鼓区）	
事業内容	リチウムイオン電池用電解質 LiFSI の製造・販売	
資本金	17,699.115 万元（払込資本金）	
株主	深圳新宙邦科技股份有限公司（Capchem）	51.19%
	日本触媒	38.00%
	豊田通商(上海)有限公司	5.50%
	長沙鑫聯華源新能源合伙企業（湖南福邦幹部社員による持株会）	5.31%

【関連リリース】

- ・ 2022.09.12 中国におけるリチウムイオン電池用電解質リチウム塩製造会社への出資について
<https://www.shokubai.co.jp/ja/news/202209125340/>
- ・ 2023.02.27 『DBJ 環境格付』4回連続で最高ランク取得
ー融資をリチウムイオン電池用電解質イオネルの事業拡大に充当ー
<https://www.shokubai.co.jp/ja/news/2023022710345/>

以上

日本触媒について：

1941年の創業以来、自社開発の触媒技術を核としてグローバルに活動する化学メーカー。紙おむつに使われ、世界1位のシェアを誇る高吸水性樹脂（2025年当社調べ）やリチウムイオン電池材料など、人と社会から必要とされる素材・ソリューションをお届けします。グループ企業理念「TechnoAmenity ～私たちはテクノロジーをもって人と社会に豊かさと快適さを提供します」のもと、長年培ってきた技術力を通じて皆様に豊かさ・快適さを提供しています。

詳しくはこちら：<https://www.shokubai.co.jp>

【問い合わせ先】

株式会社日本触媒 コーポレート・コミュニケーション部

〒541-0043 大阪府中央区高麗橋 4-1-1

E-mail: shokubai@shokubai.co.jp